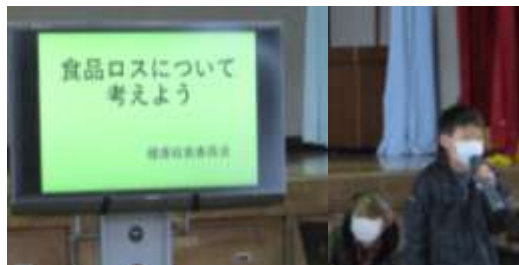


食べ物と食に携わる方々に感謝の気持ちを！

給食週間 1月19日～25日

自分たちの食生活を見直したり、給食への感謝の気持ちを改めて深めたりすることを目的に給食週間に取り組みました。食材を届けてくださる方、また生産者さん等、多くの方のおかげで毎日給食を食べることができることを改めて考えました。とりわけ、調理員さんについては、衛生面に最大限の配慮をいただき、子どもたちの喜ぶ顔を思い描きながら心を込めて調理してくださっています。全校集会では、健康給食委員の児童が、調理員さんにインタビューした様子を映像で紹介しました。また、社会問題となっている食品ロスの問題も取り上げ、食べ残しをしないようにも呼びかけました。毎日の食事には人が携わっていることを考えさせることで、今まで以上に食べ物への感謝の気持ちを育んでいきたいと思えます。給食週間の期間中には、栄養職員による栄養指導も各学年で実施しました。

☆健康給食委員会の発表☆



1日におにぎり
1億2千万個分もの
食べ物が捨てら
れているそうです。
食べ物や作って
くれる人に感謝し
て、残さずに食べま
しょう！

栄養学習のふりかえり

- なっとうは黄色の食べ物かと思ったけど、だいたいが赤の食べ物だから赤の食べ物と知りました。赤の食べ物とか、黄色の食べ物とみどりの食べ物をじゅんばんに食べないといけないことも知りました。これからは、きれいな食べ物でも、やせたりかぜをひきたくないのだからちゃんときれいな食べ物を食べたいです。(1年)
- 今日の学習で分かったことは、30回かむと飲みこみやすいということです。ぼくは、5回しかかんでいないからです。これからは、30回、40回かんでいきたいです。ぼくのめあては、「しっかりかむ。」にしました。しっかりかんで、虫歯予防をしたり、脳のはたらきをよくしたりしたいです。苦手なやさいもしっかりかんでいきたいです。(2年)
- 今まで、全然体のことを気にせずにかんでいただけ、今日、かむことの大切さを学習したら、どれだけかむことが大切か分かりました。これからは、20回はかむようにならなうと思いました。そして、やさいの大切さも知ったので、今まで食べてきたやさいとこれから食べるやさいに感謝しようと思いました。やさいをきれいにしないようにならなうと思っています。(3年)
- 今回の学習を通して「バナナうんこ」を出すためには生活リズム、食物せんい、運動が大切だと知りました。給食にもいろいろ工夫しているのだと分かりました。これからは、苦手な早ね早起きを体のためにならなうと思っています。そして、毎日「バナナうんこ」が出たらいいなと思えます。家でも、食物せんいをとったり、運動をしたりしたいです。(4年)
- カルシウムは牛乳が一番多いと思っていて、それは合っていたけど魚などししゃもも多いと分かりました。カルシウムのことなどはあまり考えないけれど、成長に大切だと分かりました。なるべくカルシウムがとれるように工夫してみたりして、少しでも気にかけてみたいなと感じました。そして、あまり食べなかった物も食べてみたいですね。(5年)
- 朝ごはんは、栄養をとるだけじゃなくて、生活習慣を整えることもできると分かったから、これからも毎日食べるようにしたいと思った。朝ごはんの栄養バランスが今までかたよっていたから、野菜やビタミンをとれるように工夫したいと思った。これから朝ごはんを毎日食べることができないかもしれないけれど、おにぎりやヨーグルトなどの簡単な物を食べるようにしたい。(6年)



調理員さんに全校でお手紙を書いて届けました。
「いつもおいしい給食をありがとうございます。これからも楽しみにしています。」

災害への備えを！ ～過去の教訓から学ぶ～

過去の災害から学び、教訓を生かしていくこと。それが今を生きる我々にとって大切なことです。これまで大規模な地震を含む数多くの自然災害によって、たくさんの被害を受けてきました。その中において、自分の安全は自分で守ること（自助）、共に助け合い支えあうこと（共助）の大切さについて学んできました。

今から26年前の1月17日に起こった阪神淡路大震災。例年、追悼行事が行われてきましたが、ここ数年は新型コロナウイルスの影響で規模の縮小や中止が続いているようです。そのような中、事実の風化を懸念される声も上がっています。学校でも同日に避難訓練を計画していましたが、急遽、中止しました。

常に大切にしておきたいことは、今いる場所から、またその時の状況から適切に避難する方法を判断できることです。いくら訓練を積んでも、実際の災害は訓練通りには起こりません。だからこそ、訓練が大切ですし、日ごろからの備えが重要です。

いつ起こるか分からない災害に備え、今後も訓練の充実と児童の意識向上を目指して取り組んでいきたいと思えます。ご家庭でも、折に触れて話題にいただき、各家庭・地域での避難の仕方等について確認する機会を設けていただきますよう、お願いいたします。



ZOOMでつながる・結ぶ 舞鶴支援学校との交流学习

京都府立舞鶴支援学校についての理解を深め、障害のある人もない人も共にいきいきと暮らす共生社会実現のきっかけとして、小学部の子どもたちと交流学习を行いました。簡単な自己紹介の後には、あの大ヒットアニメをヒントに支援学校の子どもたちが自分たちで制作した映画を視聴しました。



自分自身に挑戦！漢字検定

毎年、学校を準会場として設定し、取り組んできた漢字検定。今年もたくさんの児童が挑戦をしました。中には、毎年挑戦し続けている児童もあります。もちろん、結果として合否はありますが何かひとつのことに挑戦しようと決意したり、それに向けて地道に努力したりする経験はそれ以上に価値があることのように思います。また、検定を通して、日本語の美しさや奥深さ、漢字の成り立ち等、ことばへの関心を高めてもらえたらと思います。



第2回いじめアンケートの結果について

いじめの早期発見・解決に活かすことを目的に、第2回目のアンケートと面談を11月に実施しました。今回のアンケートの調査範囲は、1学期の終わりからアンケート実施日まででした。学校では、アンケートの結果を踏まえ、全児童を対象に面談を行い、記述した内容について丁寧な聞き取りも行いました。また、あわせて、1学期に認知した事象の経過についても聞き取りを行い、その後、嫌な思いや事象が継続していないかの確認も行いました。

それぞれの認知件数は以下の通りです。今回の調査で認知した事象は、10件でした。

- 冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。(3件)
- 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。(1件)
- ひどくぶたれたり、叩かれたり、蹴られたりする。(2件)
- 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。(4件)



面談の結果、認知したいじめ事象について重大な事態は確認されませんでした。引き続き、継続した見守りや指導が必要である点も見受けられました。相手の思いを十分に考えずに不適切な言動が見られた事案や、思い違いやコミュニケーション不足によるトラブルが見られます。今後も、保護者・地域の皆様方との連携を密にするとともに、子どもたちの些細な変化や様子に注視しつつ、お互いのよさを認め合い、誰もが安心して学べる学校づくりを目指して、全教職員で指導に努めてまいります。

なお、第1回目のアンケートで認知した11件については、全て解消されていました。

由良川小学校ホームページ <http://yuragawa-es.maizuru.ed.jp>

☆子どもたちの活動の様子などを紹介しています。ぜひ、アクセスしてみてください